

ドローンで、新しい道路舗装調査 CRAD for Asphalt

CRAD for Asphalt (**CR**ack **D**etector for Asphalt)
とは、ドローンなどで撮影した画像から道路
舗装面のひび割れを解析し、ひび割れ箇所の
ヒートマップを自動で作成するシステムです。

■CRAD for Asphalt を活用するメリット

■従来の手法

- ・図面に手作業でプロットするため
かなりの時間がかかる。
- ・MMS調査の場合は**コスト**がかかる。



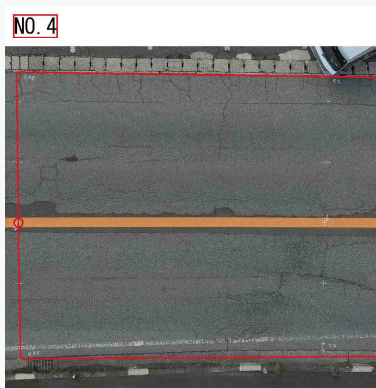
■CRAD for Asphaltの場合

- ・広範囲でも**数分～数十分**で解析
出来る。
- ・コストも大幅に**削減可能**！！

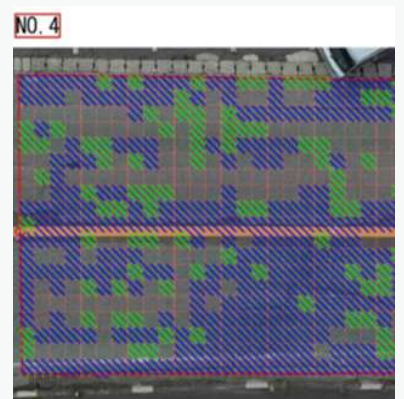
■3ステップで舗装の詳細調査が完了します！！



ドローンで撮影！



オルソ画像化！



ヒートマップに！



株式会社T&T
Technical & Technology Co., Ltd.

〒679-5316 兵庫県佐用郡佐用町豊福278番地
TEL:0790-84-8810
E-mail:drone-hyogo@kk-tt.jp
Web:<https://www.kk-tt.net/>



■CRAD for Asphalt の流れ

撮影

道路舗装面をドローンなどで撮影します。
ひび割れの解析を高精度に行うためには高精度で撮影できるカメラやドローンが必要です。



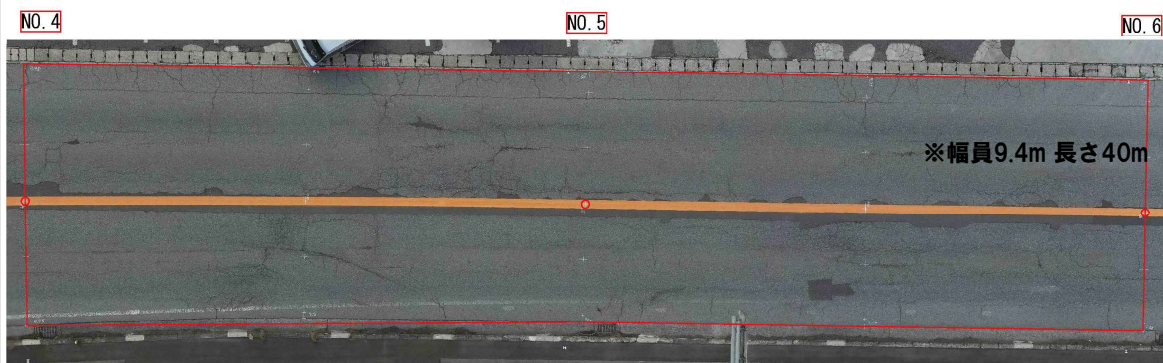
高精度なカメラで撮影した画像
(解析に使用可能)



低解像度カメラで撮影した画像
(解析に使用不可能)

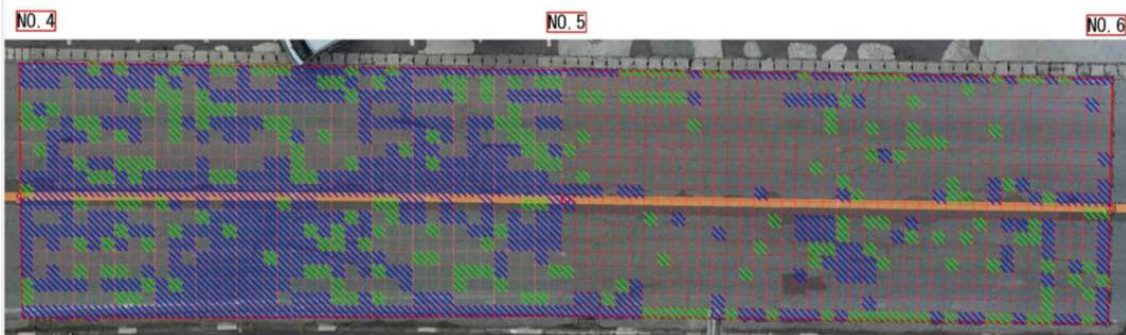
合成

写真を1枚ずつ解析すると時間がかかるため撮影した写真を合成してオルソ画像にします。
オルソ画像にする事で広範囲を効率的に解析することが可能になります。



解析

作成したオルソ画像をCRAD for Asphaltで解析します。
解析時間は約2分ほどで完了します。 ※解析範囲によって多少前後します。
50cm×50cmの範囲内でひび割れが1本あるマスと2本以上ひび割れがあるマスを示した
ヒートマップをエクスポートします。
解析精度はオルソ画像の出来によって前後しますが、60%~80%の正答率です。
解析結果は簡単に編集することができるので、成果品作成が圧倒的速さで行えます！



納品

解析したヒートマップはひび割れ率なども詳細に割り出せるため、そのまま納品データ
に流用することが可能です。

A-B間					B-C間				
区分	区間の全樹数	ひび割れ1本	ひび割れ2本	ひび割れ率(%)	区分	区間の全樹数	ひび割れ1本	ひび割れ2本	ひび割れ率(%)
上側	401	76	202	61.7%	上側	400	48	50	19.7%
下側	376	68	196	63.0%	下側	360	55	63	26.7%

撮影から解析、納品、修繕工事施工計画の立案まで豊富なノウハウを持った
専門家が行います！

従来の手法より短期間・低コストでの調査が可能です。

お見積りは無料ですので、ぜひ一度お問い合わせください！！

